

山口産業の健康経営について

健康宣言

山口産業は「膜の新しい価値の創出を通して、取り巻くものすべての利益の増進と起業の発展・向上をはかり社会に貢献します」を経営理念としています。合わせて経営方針の中に「社員の働き甲斐のある職場づくりと公正な機会を提供します」としています。これらの実践のために社員の健康を守り、活力ある職場環境を構築するため、社員の健康づくりに取り組むことを宣言します。

（取り組み内容）

- ・ 疾病の高リスク者に対する重症化予防（再検査・精密検査の受診率向上）
- ・ 全国縦断歩数計喫煙率の低下
- ・ メンタル不調者への対応（外部機関の活用促進）

山口産業株式会社
代表取締役社長 山口篤樹

健康経営の取り組みについて

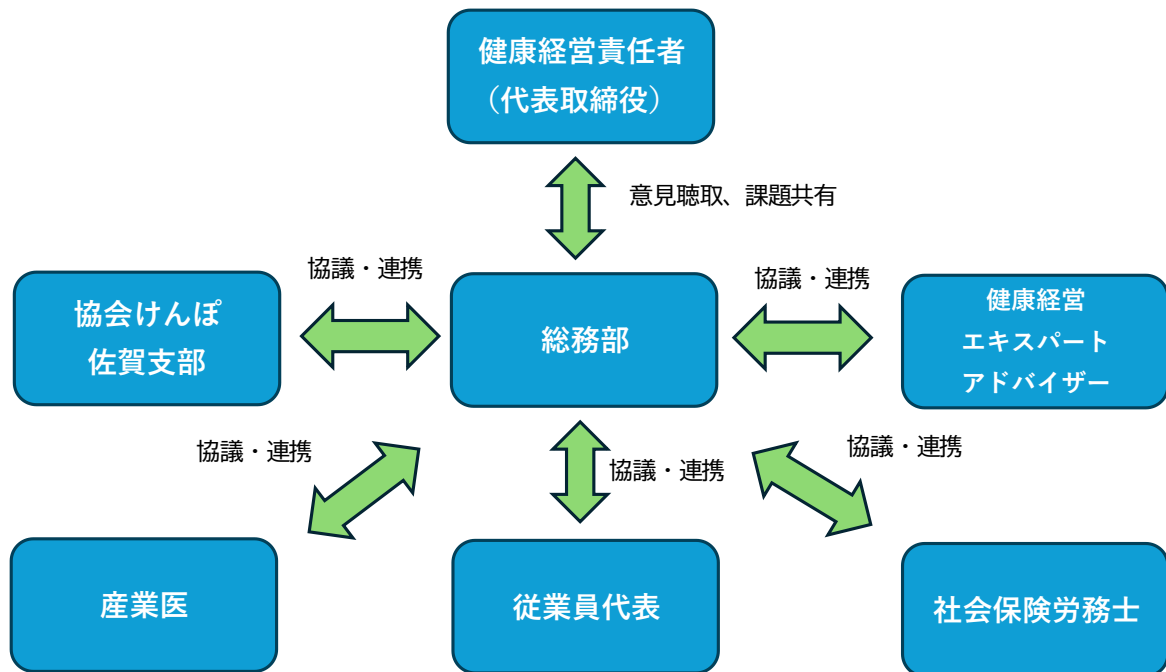
弊社は1976年設立の膜構造建築物メーカーです。私たちは膜が持つ素材の良さを引き出し、それを提供する事により、お客様に満足していただける高い品質の製品とサービスをお届けしたいと考えています。そのためには何よりもそこで働く従業員が、健康で物心ともに幸福でなければなりません。より主体的に従業員の健康増進や豊かさをサポートしたいとの思いから、健康経営を導入することとなりました。一人ひとりが健康で幸福感を持って働くことによる組織の活性化、生産性の向上を目指してまいります。

全国健康保険協会佐賀支部より「がばい健康企業宣言 優良企業2023」の認定をいただきました。社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良であると認められました。

以前より健康経営の取り組みを実施しており、今後も継続して社員の健康づくりを通して、従業員のワーク・エンゲイジメントの向上に取り組んでまいります。



推進体制



健康経営の指標

社員の主体的な健康づくりの促進や環境づくりを通じて、健康で活力あふれる社員が育まれることで、社員一人ひとりがパフォーマンスを最大限発揮できるよう、以下の重点指標の改善に取り組んでまいります。

1. 再検査・要精密検査の受診率向上
2. 飲酒習慣の改善
3. 喫煙率の減少
4. アブゼンティーイズム
5. プレゼンティーイズム
6. ワーク・エンゲイジメント
7. 仕事満足度

<当社社員にみられる健康課題>

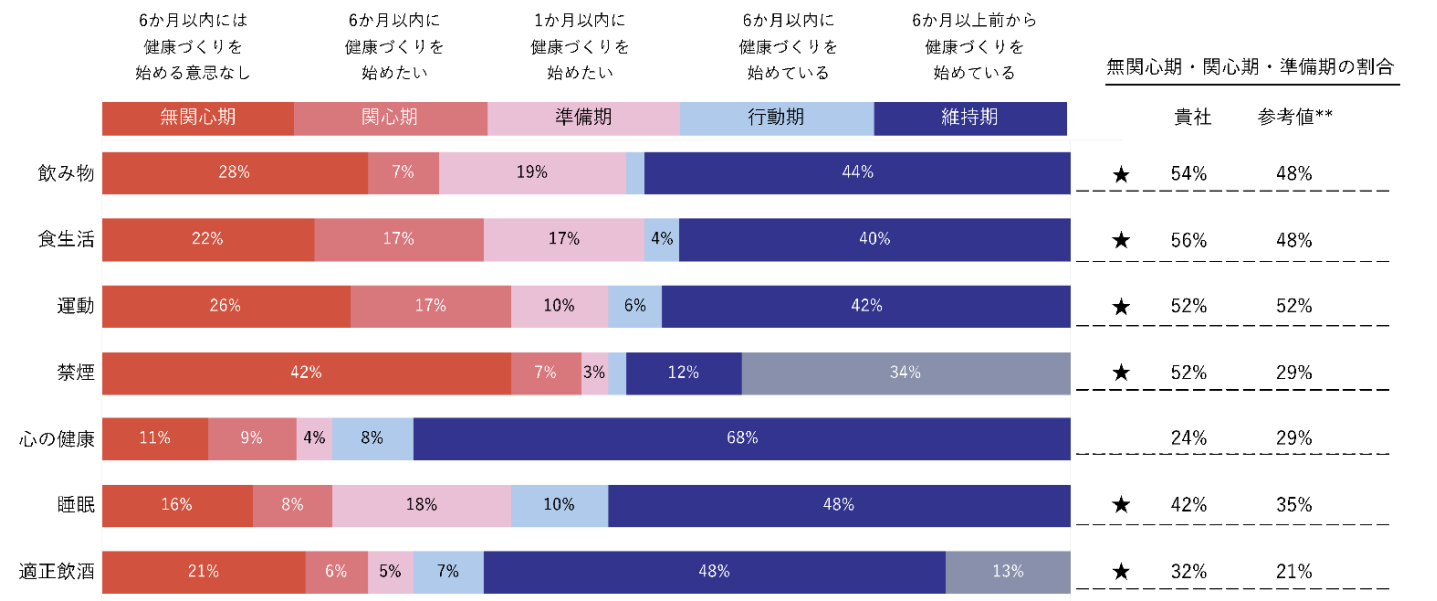
- ・他企業との比較においてメタボリックシンドローム該当率が高く、将来の生活習慣病リスクにつながる可能性がある。
- ・社員の喫煙率が高く、継続的な喫煙対策が必要。
- ・飲酒における適正量などの改善

健康関連指標の変化と目標値

健康関連指標	2023年	2024年	目標値 (2025年)	最終目標値 (2028年)
メタボリックシンドローム率(BMI・腹囲数値が高い)	48%	47%	43%	38%以下
定期健康診断実施率	100%	100%	100%	100%
再検査・精密検査実施率	14%	31%	60%	100%
特定保健指導実施率	83%	83%	100%	100%
喫煙率	—	52%	47%	40%
アブセンティイズム(傷病による平均欠勤日数)	—	5.0日	4日	3日以下
プレゼンティイズム(東京大学1問方式による生産性低下率)	—	19%	18%	16%
仕事満足度(従業員アンケート調査によるスコア)	—	3.0	3.0	3.2

健康経営の取り組みに関する効果検証

自社の具体的な健康課題把握と効果検証を目的に、年に1度社員へ健康習慣アンケートを実施しています。



*「喫煙」「適正飲酒」の非該当は、グレーで表示。
喫煙の非該当は「吸ったことがない」を選択した回答者、適正飲酒の非該当は「もともと飲まない（飲めない）」を選択した回答者

**アクサ生命 2022年の健康習慣アンケートの結果より（回答者数：約15万人）

参考値と比較して、割合が大きい項目（悪い項目）には貴社の値の左に★を表示します。

当社の健康経営推進の概略図（戦略マップ）

今後の課題への取り組みについて

